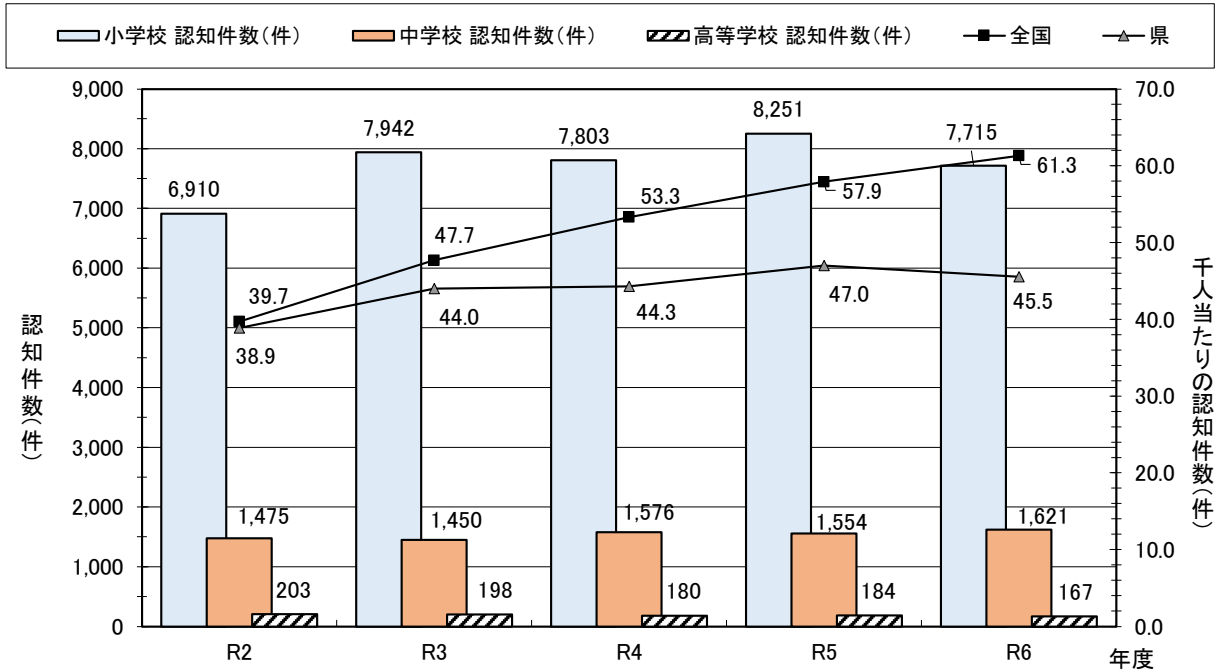


- 小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は、9,633件（前年度10,067件）であり、前年度より434件減少。1,000人当たりの認知件数は45.5件である。
- 学校種別では、中学校と特別支援学校の認知件数が増加し、小学校と高等学校では減少。増加の背景には、法の定義に基づき、些細と思われる事象も積極的にいじめとして認知したことや、活動がコロナ禍以前に戻り、接触機会が増加したこと等が考えられる。また、減少の背景には、児童生徒に目を配り、予防的な支援・指導を行ったこと等が考えられる。

1 校種別認知件数及び1,000人当たりの認知件数の推移



(単位：件)

年度		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	認知件数	6,910	7,942	7,803	8,251	7,715	
	前年度増減	▲ 848	1,032	▲ 139	448	▲ 536	
中学校	認知件数	1,475	1,450	1,576	1,554	1,621	
	前年度増減	▲ 545	▲ 25	126	▲ 22	67	
高等学校	認知件数	203	198	180	184	167	
	前年度増減	▲ 122	▲ 5	▲ 18	4	▲ 17	
特別支援学校	認知件数	50	78	44	78	130	
	前年度増減	▲ 45	28	▲ 34	34	52	
合計	認知件数	8,638	9,668	9,603	10,067	9,633	
	前年度増減	▲ 1,560	1,030	▲ 65	464	▲ 434	
	1,000人当たりの認知件数	県	38.9	44.0	44.3	47.0	45.5
		全国	39.7	47.7	53.3	57.9	61.3

(注) 調査対象校：県内国公立小中高(通信制含む)特別支援学校 711校

2 いじめ発見のきっかけ

[単位：件、%]

区 分		令和6年度			令和5年度		
		計	構成比		計	構成比	
			県	全国		県	全国
学校の教職員等が発見		5,158	53.5	60.9	5,554	55.2	62.5
内 訳	学級担任が発見	1,506	15.6	9.3	1,684	16.7	9.2
	学級担任以外の教職員が発見	256	2.7	3.1	243	2.4	2.6
	養護教諭が発見	31	0.3	0.3	43	0.4	0.3
	スクールカウンセラー等の相談員が発見	17	0.2	0.2	19	0.2	0.2
	アンケート調査などの学校の取組により発見	3,348	34.8	48.0	3,565	35.4	50.3
学校の教職員以外からの情報による発見		4,475	46.5	39.1	4,513	44.8	37.5
内 訳	本人からの訴え	2,558	26.6	19.6	2,616	26.0	19.4
	本人の保護者からの訴え	1,272	13.2	13.9	1,222	12.1	12.8
	他の児童生徒からの情報	451	4.7	3.9	472	4.7	3.7
	他の保護者からの情報	166	1.7	1.4	179	1.8	1.3
	地域の住民からの情報	4	0.0	0.1	6	0.1	0.1
	学校以外の関係機関からの情報	19	0.2	0.2	14	0.1	0.2
	その他（匿名による投書など）	5	0.1	0.1	4	0.0	0.1
計		9,633	100.0	100.0	10,067	100.0	100.0

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

3 いじめの態様（複数回答）

[単位：件、%]

区分	小学校	中学校	高等学校	特別 支援学校	計	構成比	
						県	全国
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	4,516	1,085	104	53	5,758	59.8	58.5
仲間はずれ、集団による無視をされる	1,148	208	23	6	1,385	14.4	11.6
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	1,863	235	13	24	2,135	22.2	22.4
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	556	62	11	2	631	6.6	6.8
金品をたかられる	70	16	3	1	90	0.9	1.0
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	508	88	15	4	615	6.4	5.4
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	510	102	13	37	662	6.9	11.2
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	83	120	21	7	231	2.4	3.6
その他	291	38	15	3	347	3.6	3.8
計	9,545	1,954	218	137	11,854		

(注) 構成比は、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

4 いじめの解消の状況

[単位：件、%]

区分	件数	構成比	
		長野県	全国
解消済み ※1	7,877	81.8	76.1
取組中	1,745	18.1	23.7
その他 ※2	11	0.1	0.2
計	9,633	100.0	100.0

※1: 解消済み（下記2項目を満たして解消となる）

① 被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続。

② 被害児童生徒本人及びその保護者に対する面談等により、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことが認識できる。

※2: 就学校の指定変更、転学や退学等で一定の人間関係が解消等

5 いじめ重大事態

[単位：件]

区分	長野県	全国
発生学校数	11	1,255
発生件数	11	1,405
1号重大事態	6	768
2号重大事態	7	897
1,000人当たりの発生件数	0.05	0.11

(注) 調査対象校：国公立小中高(通信舎)特別支援学校 711校

・第1号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。

・第2号重大事態とは、「いじめ」により当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

・1件の「重大事態」が、第1号及び第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上されている。